

2022年度

# 環境経営レポート

土佐新高建設株式会社

運用期間  
2022年4月～2023年3月

発行日  
2023年6月5日



環境省  
エコアクション21  
認証番号0005302



優良取組事業所

# 目次

1. 組織の概要	・・・3
2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日	・・・4
3. 環境経営方針	・・・5
4. 環境管理組織体制	・・・6
5. 環境経営活動への取組の全体概要	・・・7
6. 2022年度環境経営目標・環境経営計画	・・・9
7. 環境経営目標の実績	・・・11
8. 環境経営計画の取組結果とその評価	・・・15
～2022年度 土佐新高の環境トピックス～	・・・16
9. 次年度の取組内容	・・・20
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・・・23
11. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果	・・・26
12. 経営における課題とチャンス	・・・27

# 1, 組織概要

- 事業所名および代表者名 

土佐新高建設株式会社
代表取締役 祇園 和男
- 所在地 

【本社】 〒780-8019 高知県高知市北竹島町490	TEL. 088-832-3931
【幡多営業所】 〒787-1221 高知県四万十市三里1391	TEL. 0880-38-2055
- 環境管理責任者氏名  
及び担当者連絡先 

環境管理責任者氏名	工事部長	吉村直則
連絡先担当者	工事部長	吉村直則
連絡先 TEL: 088-832-3931		
FAX: 088-832-3536		
E-mail: <a href="mailto:n-yoshimura@tosashinko.co.jp">n-yoshimura@tosashinko.co.jp</a>		
- 事業内容 

建設業	(主に 道路、スポーツ施設等の舗装工事)		
建設業許可	許可番号	高知県知事 許可(特一2) 第 6237号	
	許可年月日	令和2年8月10日	
	建設業の種類	土木工事業 とび・土工工事業 石工事業	
		舗装工事業 しゅんせつ工事業	
- 事業規模 

設立	昭和 63年 4月
資本金	2,000万円

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
売上高 (百万円)	1152	842	803	884
従業員数 (名)	32	32	32	35
事業所延べ床面積 (m <sup>2</sup> )	295	295	295	295
- 会計年度 

会計年度:	4月～3月
-------	-------

## 2, 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

- 対象範囲（認証・登録範囲）

全社の事業所及び現場

対象事業所

本社：高知県高知市北竹島町490 (常駐：27名)

幡多営業所：高知県四万十市三里1391 (常駐：8名)

事業活動

建設業（土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業）

- レポートの対象期間

2022年4月 ~ 2023年3月

- 環境経営レポートの発行日

2023年6月5日

(次回発行予定日=2024年 6月頃)

- 作成責任者

環境管理責任者 吉村直則



# 3, 環境経営方針

## 環境経営理念

土佐新高建設株式会社は、高知県内を主体に道路等の舗装工事を行っています。  
地球や地域の環境を守り、美しい地球を子供たちに引き継いでいく為、  
事業活動における環境負荷を低減し、継続的改善による環境経営を推進していきます。

## 環境経営方針

- 1) 全部署の従業員に対して、環境経営方針を掲示等により周知させ、環境経営に関する教育を行い、環境保全の重要性を高めるように啓発活動を行います。
- 2) \*重機、車両の燃料使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。  
\*事務所および建設現場で使用する電力使用量の抑制により、二酸化炭素排出量を削減します。  
\*建設作業及び本社業務における廃棄物排出量を削減します。  
\*業務における水使用量を削減します。  
\*化学物質の使用時は、購入～使用～廃棄まで一貫して適切に監視します。
- 3) 環境負荷の少ない工事を行います。
- 4) グリーン購入を進め、環境に優しい事業活動を行います。
- 5) 環境関連法規並びに条例を遵守します。
- 6) 環境活動のP・D・C・Aを継続し、持続的に環境への負荷の低減を図ります。
- 7) 「環境経営レポート」を作成し、一般に公表します。

2022年4月18日

土佐新高建設株式会社

代表取締役

祇園和男

# 4, 環境管理組織体制

## 認証・登録の適用範囲

- ・土佐新高建設株式会社
- ・本社及びその現場
- ・幡多営業所及びその現場

## 代表者

社長 祇園 和男

## 環境管理責任者

吉村 直則

## 本社

二酸化炭素排出量削減 化学物質適正使用 担当	廃棄物排出量削減 松元 孝文	水使用量削減担当 竹村 恵子
山崎 文花	関連法規等 担当 河野 有和	グリーン購入推進担当 現場担当者

担当者変更 令和5年4月1日

津野祥章 から 山崎文花

## 幡多営業所

二酸化炭素排出量削減 化学物質適正使用 担当	廃棄物排出量削減 関連法規等 担当	水使用量削減担当 朝比奈 ゆみ子
則 公人	則 公人	グリーン購入推進担当 現場担当者

担当者変更 令和5年4月1日 担当者変更 令和5年4月1日

山崎雅夫 から 則公人 増田和男 から 則公人

## ●環境経営システム 役割・責任・権限

### 代表者 (社長)

- ・環境経営に関する統括責任。
- ・環境経営システムの実施に必要な 人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
- ・環境管理責任者を任命。
- ・経営における課題とチャンスの明確化
- ・環境経営方針の策定・見直し・指示及び全従業員へ周知
- ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認。
- ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を承認。
- ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施。
- ・環境経営レポートの承認。

### 環境 管理責任者

- ・環境経営システムの構築、実施、管理。
- ・環境関連法規等の取りまとめ票を確認。
- ・環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を確認。
- ・環境経営計画の取組結果を代表者へ報告。
- ・環境経営レポートの確認。

### ワーキング グループ

- ・環境管理責任者の補佐、EA21推進の事務局として機能する。
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施。
- ・環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案を作成。
- ・環境経営計画の実績集計。
- ・環境関連法規等取りまとめ表の作成。
- ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施。
- ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
- ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）

### 部門長

- ・自部門における環境経営システムの実施。
- ・自部門における環境経営方針の周知。
- ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施。
- ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。
- ・特定された項目の手順書作成及び運用管理。
- ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。テスト、訓練を実施、記録の作成。
- ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。

### 全従業員

- ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。
- ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営計画へ参加。

## 5. 環境経営活動への取組の全体概要

当社は、「2017年版エコアクション21ガイドライン」をもとに、環境負荷の自己チェックを行い環境経営目標の達成状況を評価し、改善に取り組んでいます。

### < 全体概況 >

- 燃料使用量、一般廃棄物排出量、水使用量は年度削減目標値を大きく達成することができました。
- 未貫通のトンネル内舗装の現場にて、照明及び空調機を設置したため電気使用量が非常に多くなりました。
- 燃料使用量は、前日の段取りによる車の乗り合わせや、現場までの移動ルートの打合せを行い走行距離の削減等を目指しました。
- 今年度も取壊しを多く含む工事があり産業廃棄物の総排出量自体は増加していました。
- 新規材料利用を指定された大規模工事を受注したため、再生材料の購入率が大幅に下がりました。
- 地域の環境美化活動として、本年度はロードボランティア活動（10回）と近隣公園の清掃を実施しております。

### < 認証・登録 >

#### こうちSDGs推進企業登録

SDGsの達成に向けた取り組みを行っている高知県内事業者について、高知県が登録する制度です。  
県内事業者による「企業価値の向上」や「多様な人材の確保」などとともに、SDGsの取り組みの裾野を広げることを目的としている。

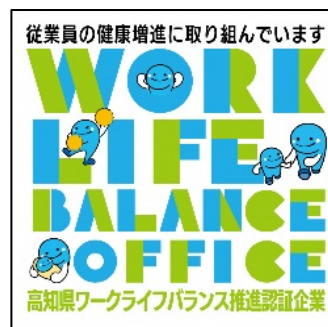


登録番号：36

登録期間：  
令和3年10月22日から  
令和6年10月21日まで

#### 高知県ワークライフバランス推進認証企業

誰もが働きやすく、従業員の方々が働き続けられる職場環境づくりを目指し、「次世代育成支援」「介護支援」「年次有給休暇の取得促進」「女性の活躍推進」「健康経営」に積極的に取り組んでいる企業を県が認証する制度です。



認証部門：  
健康経営部門

認証番号：  
第444号

認証年月日：  
令和3年10月1日



# 5. 環境経営活動への取組の全体概要

## <SDGs達成に向けた経営方針>

弊社の経営理念として『わたしたちは確かなものづくりを通して豊かな社会の実現に貢献します』を掲げています。『確かなものづくり』の言葉には、環境に配慮し安全にかつ社会規範をしっかりと守り、確かな品質のものを社会にお届けするという意味が込められています。この理念は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、従業員一人一人がこのことを十分認識し、積極的に役割を果たしていくことにより、SDGs達成に貢献していきます。

主な分野	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	重点的な取組及び指標の進捗状況
環境/社会/経済	建設工事において排出されるCO2排出量削減	1アクション21におけるCO2排出量の10%削減 (2020:223kgCO2→2030:201kgCO2)	1アクション21における売上高(百万円)当たりのCO2排出量(2022年 277.7kgCO2)
環境/社会/経済	工務部門への女性雇用比率の引き上げ	女性雇用比率の増加 (2020年3%→2030年10%)	女性雇用比率 (2022年 3%)
環境/社会/経済	工事における再生材料の使用率の引き上げ	1アクション21における目標率の増加 (2020年80%以上→2030年90%以上)	1アクション21における目標率の増加 (2022年 57.9%)

## <当社事業と対応するSDGs>

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



No.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに	○	環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう	○	高齢者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう	○	下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさを守ろう	○	緑化、植林、間伐材
16	平和と公正をすべての人に	○	寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう	○	寄付、環境教育



# 6-1. 2022年度環境経営目標

対象期間 2022年4月 ~ 2023年3月

## ● 2022年度 単年度目標

総量の目標値	単位	基準値 ※1	2022年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	266,973	256,294 (-4%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	24,387 (±0%)
	軽油	ℓ	75,159 (+3%)
	LPG	kg	6,071 (-29%)
電力使用量※2	kWh	35,300	23,298 (-34%)
産業廃棄物排出量	t	4,393	3,427 (-22%)
一般廃棄物排出量	t	1,500	1,350 (-10%)
水使用量	m <sup>3</sup>	630	441 (-30%)
廃棄物再資源化率 ※3	%	97.7	99.0%以上
グリーン購入	%	74.2	81.0%以上
環境負荷の少ない工事件数割合 ※4	%	100	100

売上高百万円当たりの目標値	単位	基準値 ※1	2022年度 目標
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO <sub>2</sub>	366.0	263.5 (-28%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	24.0 (-25%)
	軽油	ℓ	70.8 (-23%)
	LPG	kg	16.9 (-23%)
電力使用量※2	kWh	49.0	23.5 (-52%)
産業廃棄物排出量	t	5.74	3.56 (-38%)

※1 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

- ・経済産業省公表値による。
  - 四国電力(株) 0.000529 t-CO<sub>2</sub>/kWh
  - 出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO<sub>2</sub>/kWh

※3 廃棄物再資源化率 = 産業廃棄物再資源化量 / 産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

# 6-2. 環境経営計画

対象期間 2022年4月 ~ 2023年3月

2022年度		活動内容	担当者	SDGs	備考	
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドルングストップ	オペレーター	  	作業指示書に記録	
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター			
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者			
	電力 使用量削減	○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者		3か月毎、契約工場にて点検を受ける。	
		○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者			
		○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈			
水使用量削減 (排水量削減)	○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	竹村：山崎：朝比奈	 			
	○空調機の温度設定(夏28℃、冬20℃)	竹村：山崎：朝比奈				
	○不使用時のパソコンの電源OFF	技術職・事務職員				
	○工事に用いる雨水等利用	オペレーター				
廃棄物削減	一般廃棄物	○食器等のまとめ洗い	事務職員	 		
		○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者			
		○ゴミの分別徹底	松元			
	産業廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員		 	集計表に計量値を記録 再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員			
		○印刷前の書類の文書確認の徹底	技術職・事務職員			
グリーン購入	○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター	 			
	○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者				
	○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者				
化学物資排出量削減	○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者				
	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈				
環境負荷の少ない工事实施	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者	 			
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元				
環境負荷の少ない工事实施	○化学物質とならない材料の選定	工事担当者				
	○化学物質使用量削減の為に工法検討実施	工事担当者				
環境負荷の少ない工事实施	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者	 			
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者				
	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者				
環境負荷の少ない工事实施	○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者		工期の短い工法への変更も検討する。 県工事は工事毎県へ報告		

# 7-1. 環境経営目標の実績(単年)

対象期間 2022年4月 ~ 2023年3月

※ 達成率 = (目標値/実績値)\*100 (%)

(数値が100以上であればより削減できたことを表し、100未満であれば目標値に達しなかった事を表します。)

※ 実測値の ( ) の数値は基準値に対する削減比率です。

※ 基準値は、2012年度~2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※ グリーン購入の目標値は、当社の主たる事業活動である舗装工事において使用する砕石とAs. 合材の再生材料の使用率とすることに改めた。

## 各項目の総量の実績

項目	単位	2012年度~2014年度 基準値	2022年度 目標値	2022年度 実績値	達成率 (%)	実績費用 (万円)	単価 (円)
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	266,973	256,294 (-4%)	245,515 (-8.0%)	104	1,422	54
燃料 使用量	ガソリン	ℓ	24,387	24,387 (±0%)	18,951 (-22.3%)	312	162
	軽油	ℓ	72,970	75,159 (+3%)	41,656 (-42.9%)	481	115
	LPG	kg	8,551	6,071 (-29%)	2,654 (-69.0%)	72	271
電力使用量	kWh	35,300	23,298 (-34%)	174,634 (+394.7%)	13	557	27
廃棄物総排出量	t	4,393	3,427 (-22%)	3,789 (-13.7%)	90	706	1,863
一般廃棄物排出量	t	1.500	1.350 (-10%)	0.935 (-37.7%)	144		
水使用量	m <sup>3</sup>	630	441 (-30%)	297 (-52.9%)	148		
廃棄物再資源化率	%	97.7	99.0 以上	99.1 (+1.4%)	100		
グリーン購入	%	74.2	81.0 以上	57.9 (-22.0%)	71		
環境負荷の少ない工事件 数割合 ※1	%	100	100	100	100		

■ =目標を達成した項目

■ =目標を達成しなかった項目

※1 廃棄物再資源化率 = 産業廃棄物再資源化量 / 産業廃棄物総排出量

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

※ 集計の詳細は、「環境への負荷の自己チェック」による。

※3 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

- ・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO<sub>2</sub>/kWh

出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO<sub>2</sub>/kWh

## 各項目の原単位(売上高百万円)当りの実績

項目	単位	2012年度～2014年度 基準値	2022年度 目標値	2022年度 実績値	達成率 (%)	実績値 -基準値	利益 (円)※1
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub> /百万円	366.0	263.5 (-28%)	277.7 (-24.1%)	95	-88.3	4,768
燃料 使用量	ガソリン	ℓ/百万円	32.0	24.0 (-25%)	21.4 (-33.1%)	112	
	軽油	ℓ/百万円	92.0	70.8 (-23%)	47.4 (-48.4%)	149	
	LPG	kg /百万円	22.0	16.9 (-23%)	3.0 (-86.4%)	563	
電力使用量	kWh/百万円	49.0	23.5 (-52%)	197.5 (+303.1%)	12		
廃棄物総排出量	t/百万円	5.74	3.56 (-38%)	4.29 (-25.3%)	83	-1.45	2,701

## &lt;実績の総括&gt;

- 本年度は燃料使用量において削減目標を達成することができていた。しかし、電力使用量と産業廃棄物の排出量の項目で目標を達成することが出来ておらず、また、基準として想定していた売上高(960百万円)に対して売上高が884百万円と少なく、比例して百万円当たりの割合の二酸化炭素排出量、電力使用量、廃棄物総排出量の項目で目標達成することが出来ていなかった。
- 未達成項目・理由
  - 二酸化炭素排出割合… 現場使用電気使用量が大幅に増えたことにより、原単位での数値が上昇した。
  - 電気使用量・割合… 本年度は大規模なトンネル内舗装を請け負ったため、現場トンネル内の空調および照明に大量の電気を使用した。結果、目標を達成することができなかった。
  - 廃棄物総排出量… 既設舗装の剥ぎ取りや路面切削を伴う舗装工事受注の為、As, Con塊等の排出量が多く原単位での数値が上昇した。
  - グリーン購入割合… 本年度は大規模なトンネル内舗装を請け負ったため、工事特性上、新規素材と新規生コンクリートを大量に利用した。結果、再生材料の利用割合が低くなり、目標を達成することができなかった。

## &lt;実績からコストへ&gt;

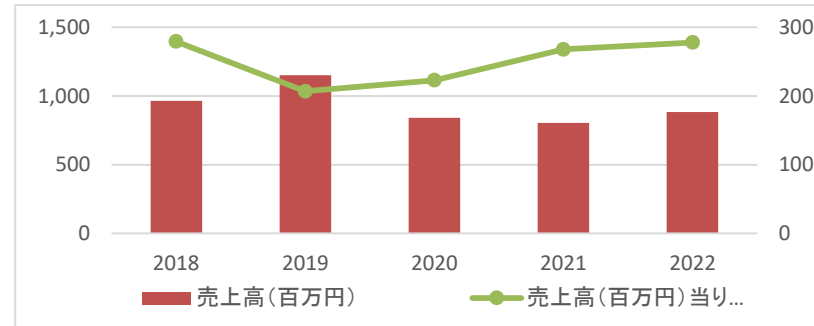
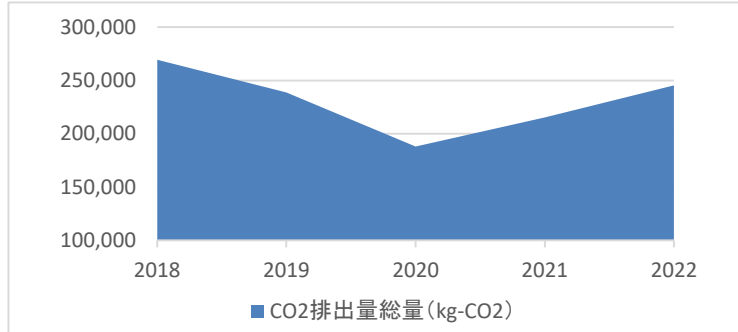
- 当年度の二酸化炭素排出量及び廃棄物総排出量の目標値は達成することができなかったが、基準値に対しては削減されており、コスト計算は下記ようになります。  
 当年度の売上高・・・ **884** (百万円)  
 ※1 売上高百万円当たりの利益とは、各項目の(本年度実績値-基準値)\*単価により算出しました。  
 単価は、前ページの各項目の実績に要した費用に対する単価です。
- 二酸化炭素排出量及び廃棄物排出量の削減の環境活動により、基準値に対し売上高百万円当たりでは、  
**4,768** + **2,701** = **7,469** 円 となっております。
- 当年度の売上884百万円あたりでは、同じ売上高で排出割合が基準値だった場合に比べて、  
**7,469** × **884** = **6,602,596** 円 のコストダウンをしたこととなります。



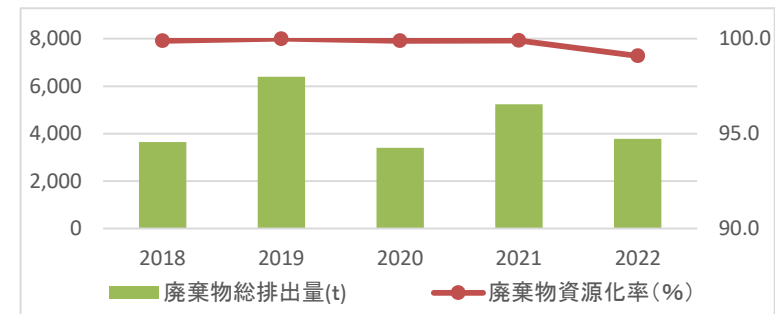
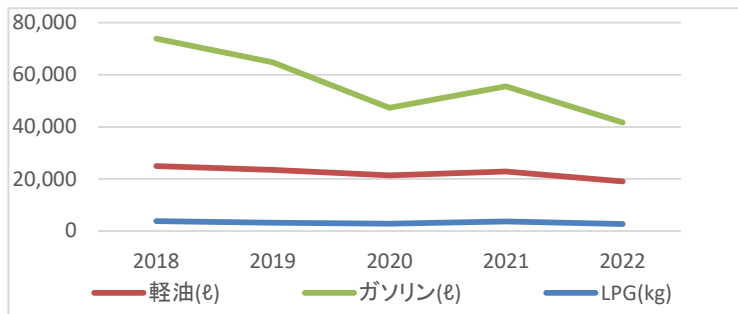
## 7-2. 環境経営目標の実績（過去5年の実績）

項目	基準値※1	2018	2019	2020	2021	2022
CO <sub>2</sub> 排出量総量 (kg-CO <sub>2</sub> )	266,973	269,495	238,789	187,815	215,371	245,515
売上高 (百万円)	960	965	1,152	842	804	884
売上高 (百万円) 当り CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	366	279	207	223	268	278

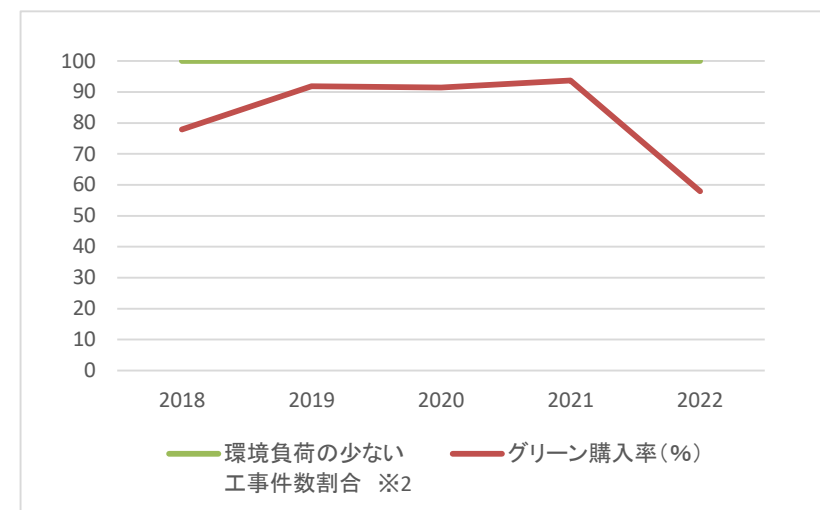
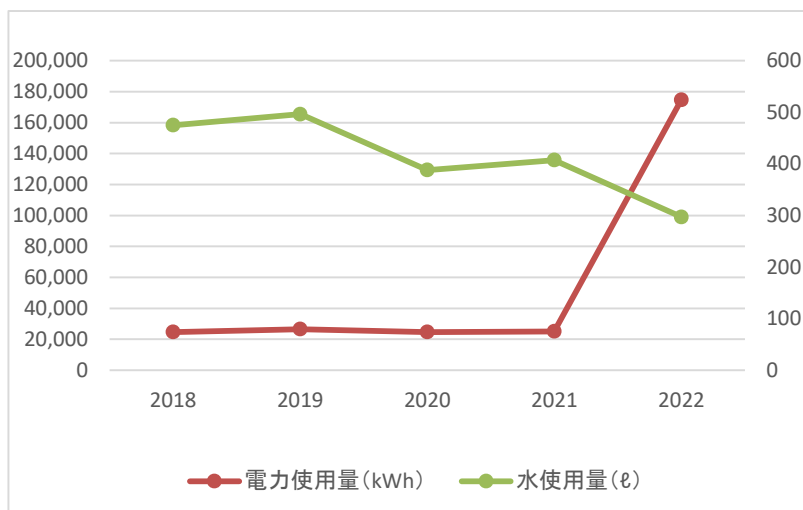
※1  
2012～2014年度の平均値を  
基準値とする。



項目	基準値※1	2018	2019	2020	2021	2022	
燃料使用量	軽油 (ℓ)	24,387	24,940	23,406	21,349	22,813	18,951
	ガソリン (ℓ)	72,970	73,897	64,754	47,384	55,611	41,656
	LPG (kg)	8,551	3,713	3,188	2,821	3,608	2,654
一般廃棄物排出量 (t)	1.500	1.060	1.264	0.917	1.303	0.935	
廃棄物総排出量 (t)	4,393	3,645	6,406	3,404	5,242	3,789	
廃棄物資源化率 (%)	97.7	99.9	100.0	99.9	99.9	99.1	



項目	基準値※1	2018	2019	2020	2021	2022
電力使用量 (kWh)	35,300	24,623	26,501	24,566	24,978	174,634
水使用量 (ℓ)	630	475	496	388	407	297
グリーン購入率 (%)	74.2	77.9	91.9	91.5	93.7	57.9
化学物質適正管理	使用時には 適正に管理する。	使用なし	使用なし	使用なし	使用なし	使用なし
環境負荷の少ない 工事件数割合 ※2	100	100	100	100	100	100



※1 2012～2014年度の平均値を基準値とする。

※2 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- 再生砕石、再生合材の使用
- 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
- 施工日数を短縮する検討
- 型枠、工事看板への間伐材の使用

## 8. 環境経営計画の取組結果とその評価

対象期間 2022年4月 ~ 2023年3月

		活動内容	担当者	取組結果	評価	見直し	
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドリングストップ	オペレーター	作業指示書により工事ごとに日々確認されていた。	ガソリン・軽油ともに、使用量が前年度より削減されており、良好である。	取組を継続する。	
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター				
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者				
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者				
	○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者	前日の段取りにより、車使用を削減できた。				
	電力 使用量削減	○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈	各自、節電に取り組むことができていた。			工事現場での大量の電力使用(トンネル内の照明・送風機に利用)により、目標値を大幅に超えてしまった。
○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)		竹村：山崎：朝比奈					
○空調機の温度設定(夏28℃、冬18℃)		竹村：山崎：朝比奈					
○不使用時のパソコンの電源OFF		技術職・事務職員					
水使用量削減 (排水量削減)		○工事に自然水(河川水等)利用	オペレーター	節水に取り組むことができていた。	使用量が前年度より削減されており、良好である。	節水の取組を継続する。	
		○食器等のまとめ洗い	事務職員				
		○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者				
廃棄物 削減	一般廃棄物	○ゴミの分別徹底	松元	排出量の削減ができていた。	前年度より排出量を削減することができたが、目標値は達成できなかった。	引き続き、処分のルールに従って活動する。	
		○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員				
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員				
	産業廃棄物	○印刷前の書類の文書確認の徹底	技術職・事務職員				マニフェストを利用し、適切な運搬・処理がされていた。
		○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター				
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者				
グリーン購入		○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者	再生材料の使用率57.9%	受注した大型工事の特性(生コン利用、新素材指定)により、大幅に使用率が下がった。	取組を継続する。	
		○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者				
		○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈				
化学物資排出量削減		○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者	化学物資の使用実績なし。		引き続き、監視をする。	
		○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元				
環境負荷の少ない工事実施		○化学物質とならない材料の選定	工事担当者	すべての弊社元請け工事にて、意識、実行することができた。	良好である。	取組を継続する。	
		○化学物質使用量削減の為に工法検討実施	工事担当者				
		○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者				
		○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者				
		○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者				
		○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者				

## 非常事態訓練

現場での火災発生や油漏れを想定して、非常事態訓練を行いました。

12 つくる責任  
つかう責任



15 陸の豊かさも  
守ろう



事業名 令和4年度 ロードボランティア

路面清掃状況

令和4年5月6日 土佐新高速建設株式会社



事業名 令和4年度 ロードボランティア

路面清掃

令和4年5月31日

## ロードボランティア

地域環境の向上を目指して、道路の美化清掃活動を行っています。

11 住み続けられる  
まちづくりを



15 陸の豊かさも  
守ろう





## 低騒音、排出ガス対策型 重機の使用

低騒音、排出ガス対策型重機を  
工事で使用しています。  
工事箇所周辺の騒音低減と、  
排出ガス量削減に努めています。

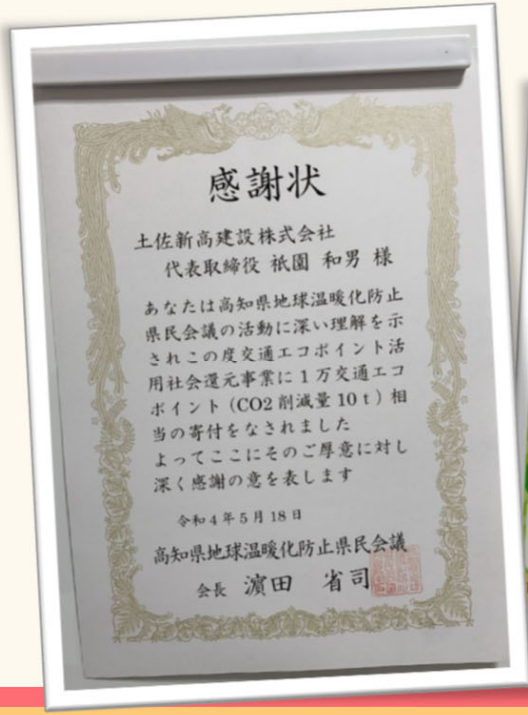
12 つくる責任  
つかう責任



13 気候変動に  
具体的な対策を



15 陸の豊かさも  
守ろう



## 高知県地球温暖化防止 県民会議総会

交通エコポイント活用社会  
還元事業「ですかでゴー」に  
寄付を行い、  
感謝状を頂きました！





## 再生可能エネルギーの利用

本社事務所の電気は、再生可能エネルギー100%の出光グリーンパワーを利用しています。



## 「高知子どもエコ活交流会」で環境工法を紹介しました

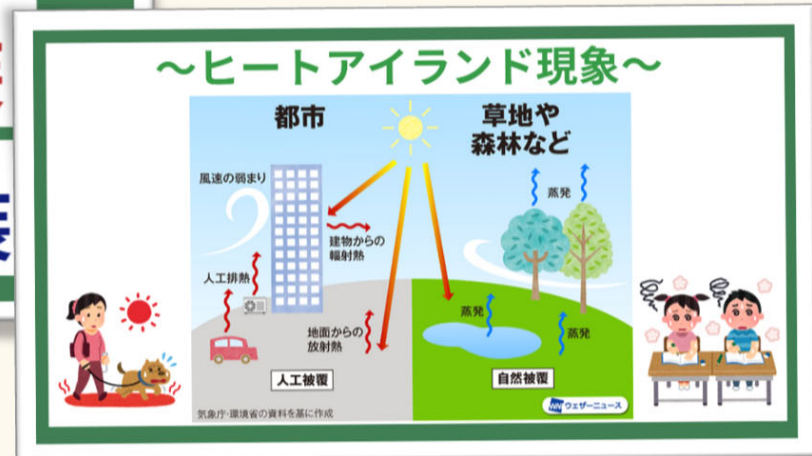
高知子どもエコ活交流会2023に企業として参加しました。子どもたちに「遮熱性舗装」「透水性舗装」について、紹介しました。



かん きょう たい さく こう ほう  
環境対策工法

しゃ ねつ せい ほ そう  
**遮熱性舗装**

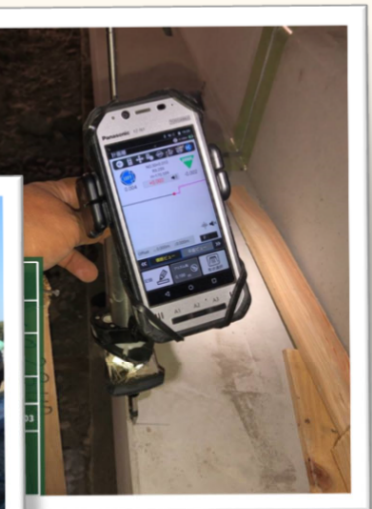
とう すい せい ほ そう  
**透水性舗装**





## ICT技術を用いた工事の効率化

請け負った工事の特性に合わせて  
杭ナビ&快速ナビを用いた測量や、  
マシンガイダンスによるICT施工を  
積極的に行っております。



# 9-1. 次年度の環境経営目標（単年）

対象期間 2023年4月～2024年3月

## ● 2023年度 単年度目標

総量の目標値	単位	基準値 ※1	2023年度 目標
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	266,973	253,624 (-5%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	24,387
	軽油	ℓ	74,429 (+2%)
	LPG	kg	5,986 (-30%)
電力使用量※2	kWh	35,300	22,945 (-35%)
産業廃棄物排出量	t	4,393	3,383 (-23%)
一般廃棄物排出量	t	1,500	1,335 (-11%)
水使用量	m <sup>3</sup>	630	435 (-31%)
廃棄物再資源化率 ※3	%	97.7	99.0%以上
グリーン購入	%	74.2	82.0%以上
環境負荷の少ない工事件数割合 ※4	%	100	100

売上高百万円当たりの目標値	単位	基準値 ※1	2023年度 目標
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO <sub>2</sub>	366.0	259.9 (-29%)
燃料使用量	ガソリン	ℓ	23.7 (-26%)
	軽油	ℓ	69.9 (-24%)
	LPG	kg	16.7 (-24%)
電力使用量※2	kWh	49.0	23.0 (-53%)
産業廃棄物排出量	t	5.74	3.50 (-39%)

※1 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO<sub>2</sub>/kWh

出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO<sub>2</sub>/kWh

※3 廃棄物再資源化率＝産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用する。
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機の使
- ・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工



## ●中・長期目標 2024～2026年度

総量の目標値	単位	基準値 ※1	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	266,973	250,955 (-6%)	248,285 (-7%)	245,615 (-8%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	24,387	23,899 (-2%)	23,655 (-3%)	23,412 (-4%)
	軽油	ℓ	72,970	73,700 (+1%)	72,970 (±0%)	72,240 (-1%)
	LPG	kg	8,551	5,900 (-31%)	5,815 (-32%)	5,729 (-33%)
電力使用量※2	kWh	35,300	22,592 (-36%)	22,239 (-37%)	21,886 (-38%)	
廃棄物総排出量	t	4,393	3,339 (-24%)	3,295 (-25%)	3,251 (-26%)	
一般廃棄物排出量	t	1,500	1,320 (-12%)	1,305 (-13%)	1,290 (-14%)	
水使用量	m <sup>3</sup>	630	428 (-32%)	422 (-33%)	416 (-34%)	
廃棄物再資源化率 ※3	%	97.7	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上	
グリーン購入	%	74.2	83.0%以上	84.0%以上	85.0%以上	
環境負荷の少ない工 事件数割合※4	%	100	100	100	100	

※1 基準値は、2012年度～2014年度の実績の平均値を取って設定したものです。

※2 購入電力の調整後排出係数は、平成29年12月21日環境省

・経済産業省公表値による。

四国電力(株) 0.000529 t-CO<sub>2</sub>/kWh

出光グリーンパワー(株) 0.000 t-CO<sub>2</sub>/kWh

売上高 百万円当たりの目標値	単位	基準値 ※1	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	
二酸化炭素排出量 (削減率%)	kg-CO <sub>2</sub>	366.0	256.2 (-30%)	252.5 (-31%)	248.9 (-32%)	
燃料使用量	ガソリン	ℓ	32.0	23.4 (-27%)	23.0 (-28%)	22.7 (-29%)
	軽油	ℓ	92.0	69.0 (-25%)	68.1 (-26%)	67.2 (-27%)
	LPG	kg	22.0	16.5 (-25%)	16.3 (-26%)	16.1 (-27%)
電力使用量※2	kWh	49.0	22.5 (-54%)	22.1 (-55%)	21.6 (-56%)	
廃棄物総排出量	t	5.74	3.44 (-40%)	3.39 (-41%)	3.33 (-42%)	

※3 廃棄物再資源化率＝産業廃棄物再資源化量/産業廃棄物総排出量

※4 環境負荷の少ない工事とは、以下の項目を実施した工事とする。

- ・再生砕石、再生合材を使用
- ・施工日数を短縮する検討を行う。
- ・低騒音、排出ガス対策型重機・型枠、工事看板への間伐材の使用
- ・遮熱性舗装の施工

# 9-2. 次年度の環境経営計画

対象期間

対象期間 2023年4月～2024年3月

2023年度		活動内容	担当者	SDGs	備考
CO <sub>2</sub> 排出量削減	燃料 使用量削減	○重機、車両のアイドルストップ	オペレーター	 	作業指示書に記録
		○重機はフル運転しない。(エコモード運転)	オペレーター		
		○タイヤの空気圧チェック	車両担当者		
		○タイヤの磨耗チェック、交換	車両担当者		
	電力 使用量削減	○できるだけ相乗りで行く。	工事担当者		3か月毎、契約工場にて点検を受ける。
		○昼休み・帰宅時の消灯	竹村：山崎：朝比奈		
水使用量削減 (排水量削減)	○不要照明の消灯(人がいない場所の消灯)	竹村：山崎：朝比奈	 		
	○空調機の温度設定(夏28℃、冬20℃)	竹村：山崎：朝比奈			
	○不使用時のパソコンの電源OFF	技術職・事務職員			
	○工事に雨水等利用	オペレーター			
廃棄物削減	一般廃棄物	○食器等のまとめ洗い	事務職員	 	
		○車両の洗車時に水の流しっ放しにしない。	車両担当者		
		○ゴミの分別徹底	松元		
	産業廃棄物	○コピー用紙の裏紙使用	技術職・事務職員	 	集計表に計量値を記録 再利用できる紙は所定の置き場に置く。
		○両面コピー、縮小コピーの実施	技術職・事務職員		
		○印刷前の書類の文書確認の徹底	技術職・事務職員		
		○アス殻、コン殻に土砂が混じらないように積み込む。	オペレーター		
		○産業廃棄物再資源化業者にできるだけ委託する。	工事担当者		
グリーン購入	○現場実測を行い、端材の発生を抑制する。	工事担当者	 		
	○廃棄物委託契約、マニフェスト発効による適正処理を実施。	工事担当者			
	○用品発注時にエコマーク、グリーンマーク商品を選定する。	山崎：朝比奈			
化学物資排出量削減	○認定リサイクルアスファルト合材を使用する。	工事担当者	 		
	○設計・見積り時に再生材料を選定する。	松元			
	○化学物質とならない材料の選定	工事担当者			
環境負荷の少ない工事実施	○化学物質使用量削減の為の工法検討実施	工事担当者	 		
	○再生砕石、再生合材を使用する。	工事担当者			
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	工事担当者			
	○施工日数を短縮する検討を行う。	工事担当者			
○型枠、工事看板への間伐材の使用	工事担当者		工期の短い工法への変更も検討する。 県工事は工事毎県へ報告		

# 10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

## ●当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況（法規）

対象期間 2022年4月 ～ 2023年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	第3条	○事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	松元	遵守	2023/4/19
	第12条	○産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	松元	遵守	2023/4/19
	第12条の10、11項	○多量排出事業者（年間1,000t以上）の計画の都道府県知事への提出・報告	必要時	松元	遵守	2023/4/19
	第12条の三	○産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	廃棄物排出時	松元	遵守	2023/4/19
	第12条の三7項	○マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（高知県知事）への提出	年1回 毎年6月末	松元	遵守	2023/6/30予定
	第14条 第14条の一12項	○産業廃棄物収集運搬業の都道府県知事の許可（5年毎に更新） ○産業廃棄物処理基準による収集運搬、処分表示、書面備付義務	期限切れ 3ヶ月前	松元	遵守	2023/4/19
	規則第8条	○保管場所の表示 見易い箇所に掲示板を設置 （縦60cm以上×横60cm以上）	必要時	松元	該当なし	2023/4/19
資源の有効な利用の促進に関する法律 （リサイクル法）	第4条	○土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	松元	遵守	2023/4/19
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	松元	遵守	2023/4/19
	第9条 第10条	○分別解体等の実施 解体：床面積80m <sup>2</sup> 以上 新築・増築：床面積500m <sup>2</sup> 以上 ○対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出	必要時	松元	遵守	2023/4/19
騒音規制法	第5条 第14条	○騒音規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	河野	遵守	2023/4/19
振動規制法	第5条 第14条	○振動規制基準の遵守 ○特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時 必要時	河野	遵守	2023/4/19

(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

●当社の事業に該当する環境関連法規等の遵守状況 (法規)

対象期間 2022年4月 ~ 2023年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
消防法	第10条	○指定数量以上の危険物貯蔵の消防長への許可 第1石油類 ガソリン：200ℓ 第2石油類 灯油、軽油：1,000ℓ 第3石油類 重油：2,000ℓ 第4石油類 潤滑油：6,000ℓ ギヤ油、エンジンオイル、マシン油	必要時	河野	該当なし	2023/4/19
	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	河野	該当なし	2023/4/19
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第19条 第5条	○事業者によるフロン類の漏洩量等の報告 1,000 CO <sub>2</sub> -t/年以上、事業所所管大臣への報告 ○定期点検の実施 エアコン：7.5kW以上50kW未満 エアコン：50kW以上 冷蔵機器、冷凍機：7.5kW以上 ○簡易点検の実施	年1回  1回/3年 1回/年 1回/年 1回/3ヶ月	河野	遵守	2023/4/19
下水道法	第10条	○下水道に下水を流入させる為の排水管、排水渠等の設置	必要時	河野	遵守	2023/4/19
水質汚濁防止法	第12条	○事業所排出口における排水基準に適合しない排水の排出制限	必要時	河野	遵守	2023/4/19
	第14条の四	○事業者の責務 公共用水域又は地下水の水質汚濁防止のための必要な措置の実施	必要時	河野	遵守	2023/4/19
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律 (オフロード法)	第4条 第17条 第18条	○事業者及び使用者の責務 特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染の防止 ○使用の制限 基準に適合した特定特殊自動車の使用 ○技術基準適合命令 必要な整備を行う	必要時	河野	遵守	2023/4/19

●環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (法規)

2022年4月1日より 2023年3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。



(10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無)

●環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 (条例)

対象期間 2022年4月 ~ 2023年3月

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
高知県環境基本条例	第6条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	河野	遵守	2023/4/19
高知県清流保全条例	第2条	○事業者の清流保全の努力	必要時	河野	遵守	2023/4/19
高知市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 公害防止、自然環境保全、廃棄物の適正処理	必要時	河野	遵守	2023/4/19
高知市公害防止条例	第24条	○特定建設作業実施届出書の作成・提出	必要時	河野	遵守	2023/4/19
高知市火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	河野	該当なし	2023/4/19
四万十市環境基本条例	第5条	○事業者の責務 環境負荷の低減、その他環境保全	必要時	増田	遵守	2023/4/19
四万十市四万十川の保全及び振興に関する基本条例	第7条	○景観保全に関する届出 ・土石の採取 ・盛土、切土による土地の形状変更 ・屋外において土石、廃棄物、再生資源、再生部品の蓄積、貯蔵する行為 ・天然林を伐採し、スギ・ヒノキの植樹 ・看板、広告板、ソーチライト照明等の設置	必要時	増田	遵守	2023/4/19
幡多西部消防組合火災予防条例	第31条	○少量物危険物貯蔵の消防署への届出 (指定数量の1/5以上指定数量未満の危険物貯蔵)	必要時	増田	該当なし	2023/4/19

●環境関連法規等の違反、訴訟等の有無 (条例)

2022年4月1日より 2023年3月31日まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

# 1 1. 代表者による全体評価と見直し・指示の結果

## 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

様式 KY-006-1

社長

祇園 和男

見直しに必要な情報				社長による見直し・指示	
(環境管理責任者による報告)		報告日： 2023年6月2日		(変更の必要性の有無・指示事項) 2023年6月2日	
[取組状況の評価結果]				[環境経営方針]	
①関連法規等の遵守状況 環境関連法規等への違反、訴訟はありませんでした。				今期、環境経営方針は変更しない。 変更の必要性： 有 (無)	
②問題点の是正処置状況 今期内での問題点の是正はありませんでした。				[環境経営目標・環境経営活動計画・環境管理実施体制]	
③前回までの社長の指示事項への対応 本年度も環境活動をコストに置き換えた数値を計算しております。				環境経営目標・環境活動計画・・・ 環境活動の継続と、売上高の確保の両面から 環境経営実績の向上を図ること。	
④月間実績値が年間月平均値の3割より増えているエネルギー項目とその理由 電気：トンネル工事現場にて使用した空調及び照明により、電気使用量が増えた。 ガソリン：遠方の現場がある際に車移動距離が増え、ガソリンの使用が増加した。 軽油：工事増加により重機の利用が増え、軽油の使用量が増加した。 LPG：表層工の増加によりスクリード加熱の時間が増えたため、ガスの使用量が増加した。 2022年度の活動実績は下記のとおりです。				環境管理実施体制・・・ 昨年度の実施体制は十分に機能していたが、 業務量を考え、担当者の変更・見直しを行った。 ○本社 二酸化炭素排出量削減担当 山崎文花 へ変更 ○幡多 二酸化炭素排出量削減・廃棄物排出量削減担当 則 公人 へ変更	
[目標・環境活動計画の達成状況]					
目標項目	目標値 達成状況	環境活動 達成状況	コメント		
二酸化炭素削減	×	○	電力使用量が大幅に増え、目標を達成できませんでした。		
廃棄物削減	×	○	工事内容により廃棄物排出量が多く、目標を達成できませんでした。		
節水	○	○	今年度は目標値より削減出来ています。		
グリーン購入	×	○	今年度の再生材料の使用率は57.9%と低く、目標達成できませんでした。		
化学物質	○	○	今期に化学物質の使用はありませんでした。		
[周囲の変化の状況]					
①外部コミュニケーション記録より 本社、幡多とも苦情はありませんでした。				現場に移動する際は乗り合わせをし、 ライトバンの燃料使用量を減らすこと。	
②環境関連法規等の改訂動向 今期、当社の事業に関する環境関連法規制等の改定はありませんでした。				変更の必要性： 有 (無)	

### 社長の指示を受けての是正内容

乗り合わせ及びNET活用による車使用の無駄を減らし、環境負荷の低減を進めます。

環境管理責任者 吉村 直則

# 12, 経営における課題とチャンス

## <土佐新高建設の課題>

(事業上の弱み・問題点等)

内部に起因するもの	外部に起因するもの
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 人員、人材の不足。</li><li>○ 社員の高齢化。</li><li>○ 小型トラックにエコカーがない。</li><li>○ 電力使用量が減少していない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 年間で仕事が平準化していない。</li><li>○ 受注にくじ運が関係するものがある。</li></ul>

## <土佐新高建設のチャンス>

(事業上の強み・有利な点等)

内部に起因するもの	外部に起因するもの
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 省エネのチャンス</li><li>○ 遮熱性舗装を自社施工できる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ EA21を取得している。</li><li>○ 情報共有システムを利用し、発注者とのコミュニケーションを図る。</li></ul>